

令和3年度 学校関係者評価報告書

ユービック情報専門学校

学校評価委員会

1. 経過 第1回学校評価委員会

令和3年8月9日 資料送付

第2回学校評価委員会

令和2年11月8日開催

・学校運営、教育活動の説明

第3回学校評価委員会

令和4年3月4日開催

・目標に対する自己評価と、委員会の最終評価

2. 関係者評価報告

1. 自己評価について

おおむね良好であり、妥当な評価と思われる。一部評価の低い箇所があるが、コロナ禍での制限、小規模校という特色がある中で、それぞれの目標に向かってしっかりと取組をされてきたことがうかがわれる。

「学生のボランティア活動を支援しているか」について、「やや不適切」の評価である。ある大規模な専門学校では、マラソン大会のような大人数のボランティアを必要とする催しにおいて、学校側が広く生徒対象に参加者を募集し、一定数の人数を確保したうえで、運営組織と連携してボランティア活動に参加させるという仕組みを取っているという。小規模の本校においては、こうした他校の取り組みは、一定数の人員確保という点で難しいことは理解できる。小規模校でも参加可能なボランティア活動への機会があれば支援を期待する。

2. その他について

今年度は新型コロナウイルスの感染対策のため、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が2度ずつ出された。それにより、広報活動においても影響を受け、入学者の目標を達成できず、昨年度並みの入学者数であった。

昨年度のように、新学期早々の緊急事態宣言で授業が制限されることもなく、発熱生徒の出席停止とアルコール消毒などの感染防止策を徹底して、学習活動及び校外学習や行事等の特別活動を順調に実施してきた。また、各種資格試験等の中止もなく、各コースの先生方の協力と生徒の頑張りで昨年以上の成果を上げたことは評価したい。ただ、各種資格試験等の主催者も、感染防止対策を求められていることから、受験料の値上げが相次いでいる。生徒の費用負担増から、受験機会の減少になることが危惧される。

1年間の学習成果を発表する成果発表会で、昨年に引き続き、本番の前日に「プレゼン大会」として全学科コースの代表者が、全校生徒の前で研究発表を行ってきた。本番の研究レポートや製作物の展示等で、日頃の学習の成果発表として締めくくることができたことは望ましい。加えて、今年は感染防止を考慮した模擬店の運営のために、6階大教室をイートイン、1階に調理場、そしてオンラインで注文というシステムを構築したことは、それぞれ各コースの学習成果であり、生徒のやる気の向上につながったと考えられる。更なる向上を期待する。